

日本児童文学学会第 62 回研究大会のご案内 (第 2 報)

2023 年 11 月 18 日 (土)・19 日 (日) 於 武蔵野大学武蔵野キャンパス 7 号館

日本児童文学学会第 62 回研究大会実行委員会

〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目 1 番 20 号

武蔵野大学 文学部 日本文学文化学科

E メール：2023jscl@gmail.com

藤本恵 (武蔵野大学)

石元みさと (日本女子体育大学)

第 62 回研究大会のご案内(第 2 報)をお届けいたします。万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

第 62 回研究大会実行委員会 藤本恵 (代表)

◆確認のお願い

今回同封してお送りしたのは、次の 2 点です。不足がありましたら、お手数ですが、実行委員会までお知らせください。

- ① 日本児童文学学会第 62 回研究大会のご案内・第 2 報(本紙、1 枚)
- ② 研究大会参加申込・総会出欠確認用ハガキ

◆参加申込みと総会委任状(総会ご欠席の場合)について

準備の都合上、10月31日(火)までに、大会への参加の有無を次の(1)(2)のいずれかの方法でお知らせください。

- (1) **Google フォーム**(以下の URL/右の QR コード)に必要事項をご記入のうえ、送信してください。総会ご欠席の場合は、委任欄へのチェックを忘れずをお願いいたします。

<https://forms.gle/1EEJhqGCrrgTTdGD6>



- (2) 同封の「研究大会参加申込・総会出欠確認用ハガキ」(切手を忘れずに貼ってご投函ください。)に必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。総会にご欠席の場合は、委任状欄に署名・捺印をお願いいたします。

◆参加費について

大会参加費は下記の通りです。

1. 会員 2,000 円 / 会員(学生) 1,000 円

2. 非会員 一日につき 2,500 円 / 非会員 (学生) 一日につき 1,000 円

参加費は、**11月10日(金)**までに、Square (Google フォームに入力いただくと、決済画面が表示されるほか、以下の URL/QR コードからもアクセス可能です) へお支払いください。クレジットカード等で簡単にお支払いができます。手数料はこちらで負担いたします。ただし、期日を過ぎてのお支払いはできません。また、お支払い後の返金はいたしませんのでご注意ください。

なお、研究大会当日に、会場受付にて参加費をお支払いくださることも可能ですが、その場合、お釣りのないようにご用意くださいますようお願いいたします。

・ 会員→<https://square.link/u/ikPQUHhV>



・ 学生会員→<https://square.link/u/ATJx0GYf>



・ 非会員→<https://square.link/u/5Xizs0Zj>



◆出張依頼書について

出張依頼書をご入用の方は、ご自分の職名・提出先を明記の上、実行委員会に E メールで 11月10日(金)までにお申し出ください。

◆受付

大会 1 日目 18 日(土)12 時、2 日目 19 日(日)9 時から、**7 号館 2F 階段前**で受付をいたします。
受付場所の詳細は、当日 7 号館正面入口に掲示しますので、掲示にてご確認ください。

受付で、領収書・ネームプレート・「研究発表要旨集録」をお渡しいたします。なお、ネームプレートは大会参加証となりますので、衣服につけてください。また、ネームプレートはお帰りの際にご返却ください。

◆大会期間内の昼食について

会場校では昼食の手配はいたしません。11月18日(土)・19日(日)ともに、各自でご用

意ください。

会場校の食堂は土休日には営業していないうえ、周辺には飲食店・コンビニエンスストアなどが近くにはありません。昼食等を調達してからお越しください。昼食時には 7204 教室その他をお使いいただけます。

◆研究発表者・司会者へのお願い

発表者および司会者は、各分科会開始時刻の 15 分前に発表会場にご集合ください。

研究発表時間は 20 分で、質疑・応答・討議と発表者の交代時間 10 分を含む計 30 分を、各発表者の持ち時間といたします。他の発表との進行の都合上、時間厳守でお願いいたします。なお、発表中止などの場合は、発表者を繰り上げず、その時間は休憩といたします。

◆大会期間中の連絡先

大会期間中、緊急の場合の連絡先は次の通りです。

実行委員会事務局：Eメール：2023jscl@gmail.com

◆宿泊案内

大会実行委員会では宿泊の斡旋はいたしませんので、各自でご予約ください。

◆交通案内(会場校の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。)



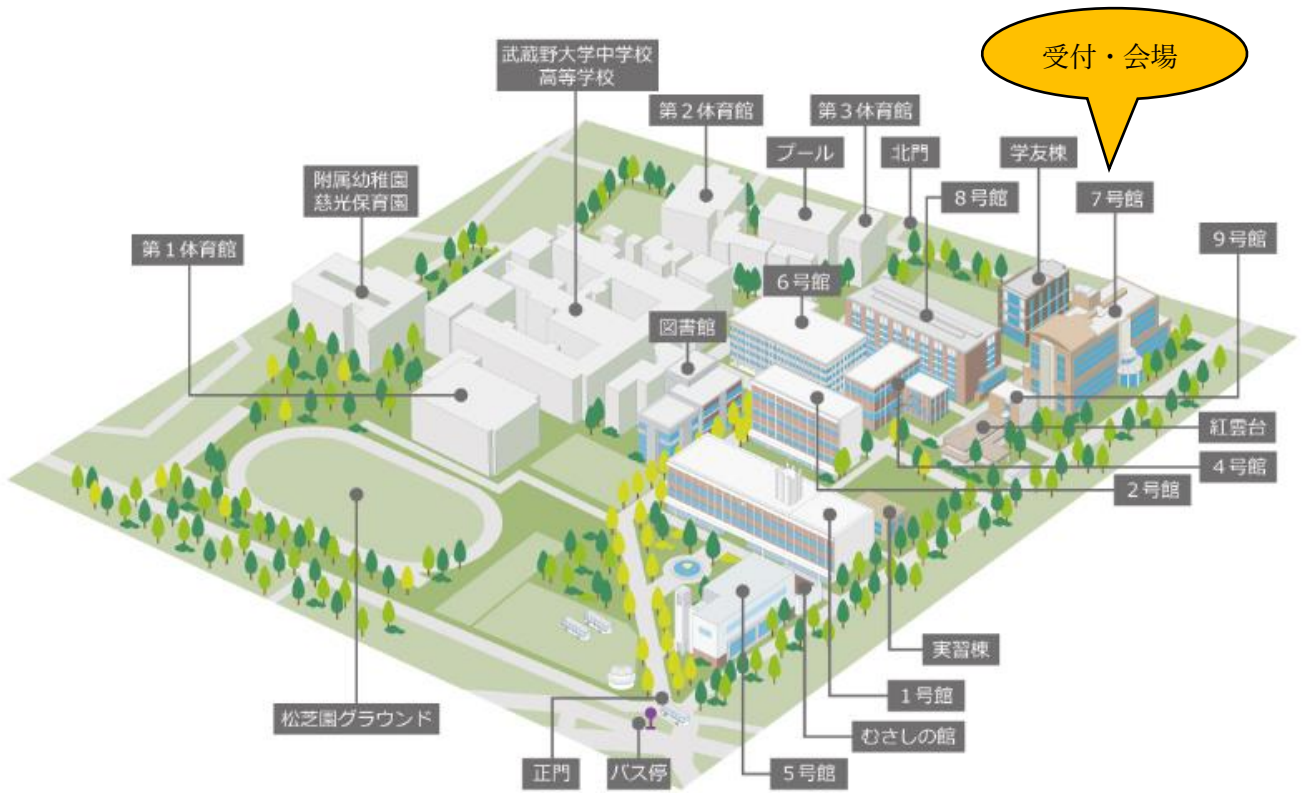
なお、11月18日(土)・19日(日)には、山手線の一部区間に運休が予定されています。ご移動の際は山手線以外の手段をご検討ください。

〈JR 東日本の告知ページ〉

<https://www.jreast.co.jp/shibuya-koji/>



◆キャンパスマップ



日本児童文学学会第 62 回研究大会プログラム

11月18日(土) 受付は12時から、7号館2F階段前にて行います。

理事・評議員懇談会 11:00～ 7303教室(7号館3F)

*事前のオンライン会議に加えて、理事・評議員の懇談会を開きます。

研究発表I 13:00-14:30

【分科会①】司会：西山利佳 7203教室(7号館2F)

1. 特別支援学級における「名前を見てちょうだい」役割演技の実践報告
高坂結実(愛知県豊田市立高嶺小学校 特別支援学級担任)
2. 保科孝一主幹『国語教育』における課外読み物論の検討
目黒強(神戸大学)
3. 戦争児童文学教材のこれまでとこれから
—第0世代から第3世代までの「母」を通して見えること—
黒川麻実(大阪樟蔭女子大学)

【分科会②】司会：水間千恵 7205教室(7号館2F)

1. 櫻井鷗村の翻訳の特徴—*The Boy Emigrants* (1877) と『金掘少年』(1900)
鈴木宏枝(神奈川大学)
2. 片山廣子の初期短歌に詠まれた「子ども」—英国の童謡との関りについて—
永井泉(大阪公立大学大学院都市文化研究センター研究員)
3. 「世界文庫刊行会」による『欧米小学読本』の纂訳紹介をめぐって
府川源一郎(横浜国立大学名誉教授)

ラウンドテーブル 13:00-14:40

7204 教室(7号館 2F)

「巖谷小波の絵葉書から見えてくるもの：旅と家族と幅広いネットワーク状況をたどる」

司会：土居安子（大阪国際児童文学振興財団）

遠藤純（武庫川女子大学）

大貫俊彦（千葉工業大学）

柿本真代（京都華頂大学）

酒井晶代（愛知淑徳大学）

中川理恵子（豊岡短期大学講師）

インタビュー 15:00-16:30

7204 教室(7号館 2F)

「詩と絵本のことば 林木林さんに聞く」

林木林（詩人・絵本作家）

聞き手：宮田航平（東京都立産業技術高等専門学校）

学会賞授賞式・総会 16:30-17:30

7204 教室(7号館 2F)

交流会 17:30-18:30

7204 教室(7号館 2F)

*総会後に一時間程度、茶話会形式の交流会を開きます。ご自由にご参加ください。飲み物は実行委員会で用意します。お菓子の差し入れを、歓迎いたします。

11月19日(日) 受付は9時から、7号館2F階段前にて行います。

研究発表Ⅱ 9:30-12:00

【分科会①】 司会：横川寿美子・大沼郁子 7203 教室(7号館2F)

1. 1970年代前後フランスにおける「子どもの本の文学場」の検討
伊藤敬佑（白百合女子大学非常勤講師）
2. 大正期の少女雑誌『新少女』における西洋文化の受容—フランスに関する記事を中心に
渡辺貴規子（大阪大学）
3. 昭和六年ラジオ「子供の時間」中継放送の検討
畠山兆子（梅花女子大学名誉教授）
4. カタカナ童話、ひらがな童話の思想と方法
宮川健郎（大阪国際児童文学振興財団）
5. 「現代児童文学」出発前夜における「童話」の追求
——『婦人朝日』「わたしの童話特別募集」入選作及び選評を中心に——
佐藤宗子（千葉大学名誉教授）

【分科会②】 司会：川勝泰介・佐々木由美子 7205 教室(7号館2F)

1. 童画作品における「創作する子ども」のイメージ 岡本帰一・初山滋・武井武雄の場合
遠藤知恵子（白百合女子大学児童文化研究センター非常勤助手）
2. 紙芝居『稲むらの火』の変遷—日本教育紙芝居協会における作品改訂過程を探る—
浅岡靖央（白百合女子大学）
3. 巖谷小波『日本昔噺』叢書の成立と影響—装訂と書体の視点から—
福原真子（総合研究大学院大学博士後期課程）
4. 絵本観の変遷—「絵本文化」という用語の登場に鑑みる
永田桂子（京都女子大学大学院元非常勤講師）
5. 中国における日本再話中国民話絵本『王さまと九人のきょうだい』の再受容について
劉娟（横浜国立大学非常勤講師）

【分科会③】 司会：奥山恵

7204 教室(7号館 2F)

1. 松谷みよ子再話「座頭の木」の一考察

来栖史江（梅花女子大学非常勤講師）

2. こまつあやこ『ハジメテヒラク』をアウトティングの観点から読む

—近年のYA作品がもつ「軽さ」の一例として—

小林夏美（聖学院大学非常勤講師）

3. 上橋菜穂子作品研究—自然と文明、『守り人』シリーズを中心に—

尾崎めぐみ（日本女子大学大学院博士後期課程）

4. 上橋菜穂子〈守り人〉シリーズにおける食の描写

—架空の食べ物にみるファンタジーのリアリティー—

伊藤かの子（白百合女子大学大学院博士後期課程）

インタビュー 13:20-14:50

7204 教室(7号館 2F)

「古典文学と子どもをつなぐ 川村裕子さんに聞く」

川村裕子（新潟産業大学名誉教授、武蔵野大学元教授）

聞き手：岩城賢太郎（武蔵野大学）

シンポジウム 15:00-16:50

7204 教室(7号館 2F)

「大衆の”文化”としての童謡—金子みすゞと与田準一の詩作から 100年—」

司会：鶴野祐介（立命館大学）

青木文美（愛知淑徳大学）

周東美材（学習院大学）

藤本恵（武蔵野大学）